



なごさい
夏越祭
 (7月29日)

災息無
 福招災除

— (宝永四年) 一七〇七 貝原益軒書 —

岡田宮

岡田宮夏越祭 ごあんない

第43号

平成19年7月吉日
 発行 岡田宮社務所
 北九州市八幡西区岡田町1番1号
 郵便番号 806-0033
 電話 (093) 621-1898
 FAX (093) 621-5330
 E-mail okada.gun@yahoo.co.jp

明治天皇御製

とこしへに国まもりす

天地の神の祭をおろかにすな

平成十九年七月二十九日(日) 午後六時~九時
 (雨天決行)

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

大祓神事 午後六時より

どなたでも参加できます。参列の方には大祓詞をさしあげます。ふるってご参加ください。

当日ご参拜の方に

■「お札」と「茅」を授与いたします。

■魔除けとして玄関に奉斎して下さい。

■無病息災・除災招福御神酒接待

ご参拜の方に御神酒をご奉仕いたします。

■総当たり福引き・かき氷
 地元青年会の屋台がたちます。
 いづれも一回100円

■アニメ上映



無料券

当日この券をご持参ください
 福引き・かき氷のいづれか
 1回が無料になります。

平成十八年度

神社総代研修会

三月九日 晴れ

総勢三十三名を乗せたバスは春の長閑な陽射しの下、一路この度の研修地であります糟屋郡宇美町銀座、宇美八幡宮へと向かいました。

宇美八幡宮は神功皇后が八幡神・応神天皇をお産みになられた聖地



として県内は勿論全国的にも著名な神社であります。その故事により安産・子安の神様として大変多くの崇敬を集めている神社でもあります。

その宇美八幡宮に到着後、早速正式参拝。この政令指定都市の中では最も少子高齢化の進む北九州の現状を打破するため参加者は皆、梶原総代会長に合わせて地域の出生率増加を願い、念を入れて参拝してまいりました。

参拝後、伊藤彌宜様より境内のご案内をしていただきました。

境内には樹齢二千年と推定される「湯蓋の森」「衣掛の森」と呼ばれる二本の大樟をはじめ数多くの老木が生い茂っております。

湯蓋の森、衣掛の森は一本でも森というように大変な大木で御神威をひしひしと感じさせる佇まいでした。その他、神功皇后ご出産の砌にお廻りになられた櫨に緑の子安の木をはじめ子安の石、産湯の水等見学させていただきました。

一通りご案内いただいた後、心残りながらも宇美八幡宮を後にし、一行はすぐ近くにある清酒萬代醸造元

小林酒造の酒蔵見学に向かいました。

最近では焼酎ブームに押されてか清酒の消費量は激減しているとのこと。そんな中でも昔ながらの製法を守り、味にこだわったお酒造りについて色々お話を伺い、時代の流れによっても変わることもなく守り続けることの大切さを美味しいお酒を試飲して、ほろ酔い加減になりながらも再認識致しました。それから移動して昼食後、太宰府にあります九州国立博物館へ。

お目当ては特別展の「若沖と江戸絵画展」。普段あまり目にすることがない江戸時代の一級の絵画を堪能し、この国の文化水準の高さ、誇るべき芸術性を内包した国柄に感激を禁じ得ませんでした。こういった自国のすばらしい文化を知り、その良さを後世にきちんと伝えていくことが「美しい国」への第一歩であるように思います。

今後の研修でもそういった自国の文化に直に触れられるような研修を進めてまいりたいと思います。今年度の研修も楽しい中にも多々学ぶべき内容の詰まった充実した研修であったと思います。今後の神社運営に活かしてまいりたいと思います。

郷土地名考

43

桜屋跡 (さくらや)

現 八幡西区田町三丁目

黒崎宿にあった旅籠屋。慶長年間(五六九、一六一)に鳴水村に上着した古海彦左衛門(のち宇都宮に改姓)の弟仁兵衛が黒崎宿成立とともに旅籠業を始めたという。宇都宮氏は文政・天保期、八二八四には、宿庄屋・船庄屋などを勤めながら田町で薩摩鹿兒島藩・肥後熊本藩の御用達や肥前佐賀藩の御用達でもあった。屋号は初め薩摩屋といひ、長崎屋とも称した。江戸時代最後の当主宇都宮宮守与次兵衛正頭は勤皇の志が厚く、西郷隆盛・坂本龍馬などの志士たちや三条美ら五卿を宿泊させた。慶應元年(一八六五)一月に長門から落延びる際に投宿した三条は「九重のはるにもれつるうくすひは、よのことのみなけきことなけ」(宇都宮正頭)との詠歌を残した(三条美ら公記)。宇都宮碑には正頭の歌も彫込まれ、桜屋の庭前に建てていた建物は平成二年(一九九〇)に解体。なお宇都宮家は黒崎宿関係文書(慶應宇都宮文書)を蔵する。



皆様のご来訪と利用をお待ち
しております

岡田宮について

人生祭儀礼
人生のおまつり

祭事暦
年間行事

道案内

お問い合わせ

<http://www.okadagu.jp/>

式部式 宮公一 田宮ム 岡ホ一 開

神社なせ問答

(その43)

参拝の際に鳴らす鈴の意味について
教えてください。

多くの神社には、拜殿の中央、ちよ
うど賽銭箱の真上あたりに、銅や
真鍮（しんちゆう）製の大きな鈴が吊
られており、この鈴に添えて麻縄や
紅白・五色の布などを垂らして、
参拝者はこれを振り動かして鈴を
鳴らし、お参りをします。

神社によっては神仏習合の影響
により、鈴の代わりに鯛（おにぎ）
が設けられている場合もあります。
社頭に設けられた鈴は、その清々
しい音色で参拝者を敬虔な気持ち
にするとともに参拝者を祓い清め
神霊の発動を願うものと考えられ
ています。

また、巫女が神楽舞を舞う際に用
いる神楽鈴も、社頭の鈴と同様の
意味によるものです。古くは巫女
が神楽を舞うことにより神憑りし
て人々に神の意志を伝えており、
このために必要なものとされてい
ました。

今日では巫女による神楽舞が優雅
な形に定められ、神憑りというよ
り神慮を慰めるものとしての意味
合いが強くなり、神楽舞の後に参
拝者に対しておこなわれる鈴振り
行事は、祓い清めの意味を有する
ものといえることができます。この
ほか、御守などの授与品に鈴が用

いられるのは、魔除けや厄除け開
運のためともいわれています。

『古語拾遺』(こことしゅうい)には、
天の岩屋(あまのいわい)にお隠れに
なられた天照大御神の心をひくた
めに、天鈿女命(あめのうずめのみこと)
が鈴を付けた矛を持つて舞ったこ
とが記され、宮中では天皇陛下が
天照大御神を御親拝(ごしんぱい)
なされる際に、女性で祭祀を司る
内掌典(ないしょうてん)が、御鈴
を鳴らして奉仕することがあるよ
うに、神事における鈴振りは今日
まで重要な意味を持ってきました。
江戸時代の国学者である本居宣長(もと
のりなが)は白らの号を「鈴屋
(すずのや)と称して、「鈴の屋と
は、三十六の小鈴を、赤き緒にぬ
きたれて、柱などにかけておきて、
物むつかしきおりおり引なして、
それが音をきけば、こちもすが
すがしくおもほゆ、その鈴の歌は
とこのべにわがかけて、いにしへ
しぬぶ鈴が音のさやさや」とその
命名の意味を述べていますが、そ
の美しき音色は神人共に和ませる
ものといえることができます。

編集部より

神道についての素朴な疑問等を
募集しております。神社本庁教学
研究部の協力でお答えします。
ご質問は紙面の都合上、基礎的
な質問に限らせていただきます。
質問者氏名等は掲載いたしません
が、お名前、ご連絡先は忘れず
お願いします。

七五三

七五三祭は、子供の成長にともない折り目、折り目に神社にお参りして、いつその息災成長を祈る行事です。

三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなどと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成十九年の七五三の年齢は、左記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

記

三歳 平成十七年生 (かぞえ齢)

五歳 平成十六年生 (満年齢)

七歳 平成十五年生 (かぞえ齢)

平成十四年生 (満年齢)

平成十三年生 (かぞえ齢)

平成十二年生 (満年齢)

※年齢はかぞえ年でも、

満年齢でもかまいません。

※毎日午前九時より午後五時

まで受付をしています。



うれしいな

うれしいな
生きている

本が読めて
字がかける

うれしいな
生きている

まだまだいいことが
たくさんできる

うれしいな

可愛いものがいっぱい
可愛がってくれる人もいっぱい

新生の子

倒れたならば起て

昨年失敗したならば今年成功せよ
失望は勇気の自殺である

出る月をまて
散る花を追うな

うしろにあるものを忘れて
前にあるものを望め

太陽は暁の雲を破って昇る
新生の子よ

新しい大地の上に
新しい第一歩をふめ

有川写真館

八幡西区岡田町1-4 4-3 F

0120-62-2080

岡田宮スタジオ(境内)

0120-620-753

神社挙式プラン

(挙式料・衣装・写真1枚込み)

¥98,250~

宮参り・七五三・入園・入学など

(お子様の衣装・着付け・ヘアメイク無料)

レンタルお出かけ衣装

1着 ¥5,000~(お子様に限りです)

撮影料金

四切1ポーズ1枚.....¥10,500

四切2ポーズ2枚.....¥21,000

四切3ポーズ3枚.....¥27,000